

ひめぎんの現況

(平成18年9月期版／ディスクロージャー誌)

愛のある、おつきあいを。

愛媛銀行

こんにちは、ひめぎんです。

プロフィール (平成18年9月30日現在)

- 名 称／株式会社 愛媛銀行
- 所在地／愛媛県松山市勝山町2丁目1番地
- 設 立／昭和18年3月20日
- 資本金／154億6千万円
- 預金等／1兆4,832億円
- 貸出金／1兆2,419億円
- 店舗数／94店舗(本支店91、出張所3)
- 行員数／1,451名



I.ふるさとの
発展に役立つ
銀行

経営理念

II.たくましく
発展する銀行

III.働きがいの
ある銀行



愛媛銀行の行章

地元に愛され、親しまれることを基本理念として、片仮名でエヒメを図案化したものです。エを円形にデザインし、お客様と銀行が固く結ばれ、お客様とともに、永遠の繁栄を表現したものです。(昭和27年10月制定)

ごあいさつ

皆様には、平素より私ども愛媛銀行をご利用、お引き立ていただきまして、誠にありがとうございます。

当行第103期中間決算（平成18年4月1日から平成18年9月30日まで）につきまして、ディスクロージャー誌「ひめぎんの現況」を作成いたしました。本誌を通じて当行の現況をより一層ご理解いただけましたら幸いに存じます。

当行は平成18年4月から「地域No.1の金融サービスの提供」を経営指針とする第12次中期経営計画をスタートさせました。創業以来の精神である、お客様の立場に立った営業に徹することで、お客様に最初に相談される銀行として、地域の皆様とともに歩んでまいります。

今後とも、皆様方のより一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

平成19年1月

頭取 中山 紘治郎



もくじ

■ プロフィール	1
■ ごあいさつ	2
■ 第12次中期経営計画	3
■ 営業の概況	4
■ 地域金融機関としての取り組み	7
・ 地域への貢献	8
・ ひめぎんとピックス	9

第12次中期経営計画

(平成18年4月～平成21年3月)

当行では、平成18年4月から計画期間を3年間とする第12次中期経営計画をスタートさせました。「地域No.1の金融サービスの提供」を経営指針に掲げ、「お客様ロイヤルティの追求」「ジョブロイヤルティの追求」「コーポレートガバナンスの強化」を基本方針とし、マーケティングの概念を取り入れ、お客様の利便性向上や行員の提案能力の強化、そして意欲と能力のある人材が活躍できるような制度面の充実などに積極的に取り組んでおります。

〈概要〉



基本方針

1. お客様ロイヤルティの追求

愛媛銀行に相談してよかった、愛媛銀行と取引してよかった、また愛媛銀行に行こう、友達に愛媛銀行を勧めよう、とお客様に思ってもらえるように努めてまいります。

2. ジョブロイヤルティの追求

お客様へのサービスを向上させようとする行員を適正に評価し、私たち一人ひとりが満足して働ける職場環境を整えることにより、真に働きがいのある愛媛銀行を目指してまいります。

3. コーポレートガバナンスの強化

愛媛銀行は社会からの信用があって初めて存在していることを再認識するなかで、コンプライアンスの徹底を図り、社会の一員として規律ある経営、効率的な経営に徹してまいります。

ひめぎんの
現況

営業の概況

主要な事業内容と金融経済環境

当行は、愛媛県内を中心とした四国地区を主な基盤として、リテール分野を中心に、預金業務、貸出業務、内国為替業務、外国為替業務などの銀行業務を営んでおります。

上半期のわが国の経済は、企業収益が拡大するとともに、雇用情勢にも改善の兆しが見えはじめたことから、景気は順調に回復を続けました。愛媛県内の経済情勢は、業種間や地域間の格差が依然として大きいものの、好調な設備投資や個人消費の持ち直しを背景に、全体として緩やかな回復傾向にあります。

このような金融情勢のもと、当行は、常にお客様本位の営業に徹するとともに、資金の効率的運用と経費削減に努めました結果、平成18年度中間期において、以下のような業績をあげることができました。

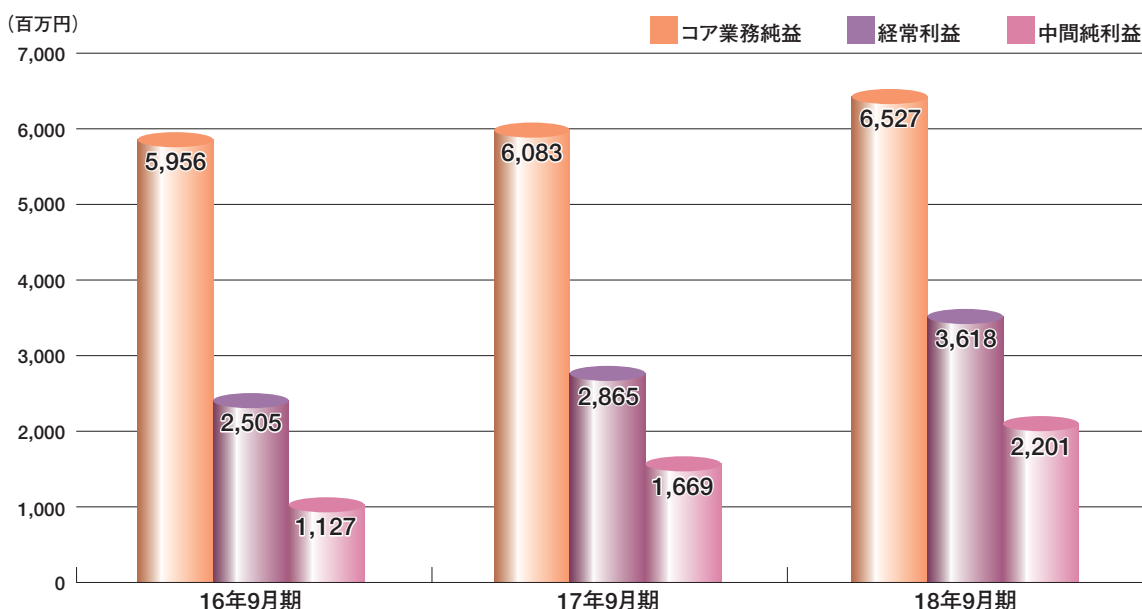
対処すべき課題

地域金融機関には、地域金融機能の円滑化を図り、お客様本位の金融サービス・金融商品の提供を迅速かつ適切に行い、地域経済活性化に貢献することが求められています。

そうしたことから当行は94番目の店舗となる土居支店を平成18年7月にオープンするとともに、宇和島支店を新築移転いたしました。また、ますます多様化するお客様のニーズに適時・適切に対応するため、平成18年11月に当行初のインスタブランチ『Voce (ボーチェ)』をオープンし、休日営業や平日の営業時間延長に取り組むなど、お客様の目線に立った様々な試みを始めています。更に、愛媛FC応援定期預金を発売して、愛媛県のサッカーチームに支援金を贈呈するなど、地域経済の発展や生活・文化の向上のため、積極的な活動を行ってまいりました。

金融機関を取り巻く環境は、郵便貯金銀行の誕生や異業種からの銀行業への参入が進展するなどにより、大きく変化することが予想されます。当行はお客様から『最初に相談される銀行』となるために、地域に根ざすという当行の伝統を大切にしながら、一方では従来の銀行の殻を破る積極的な挑戦を続けることで、地域とともに力強く発展してまいります。

■収益の状況(単体)



効率的な資金の運用に加えて、預り資産等の手数料収入の伸びにより、収益は順調に増加し、コア業務純益は前年同期比+444百万円(+7.3%)の6,527百万円を計上しました。

用語の
ご説明

■コア業務純益

銀行本来業務による利益を表したもので、「業務純益」から一般貸倒引当金繰入額と国債等債券損益を除いたものです。

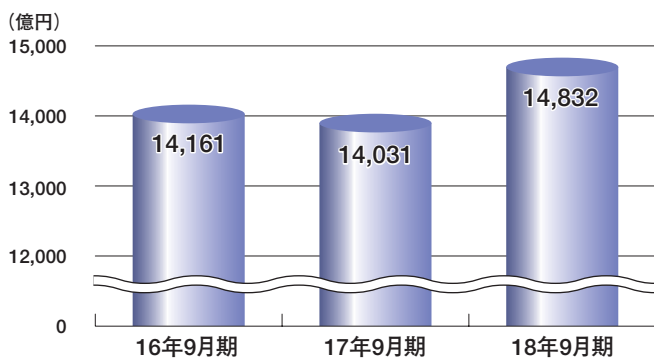
(平成18年度中間決算の概況(単体))

ひめぎんの現況

営業の概況 (平成18年度中間決算の概況〈単体〉)

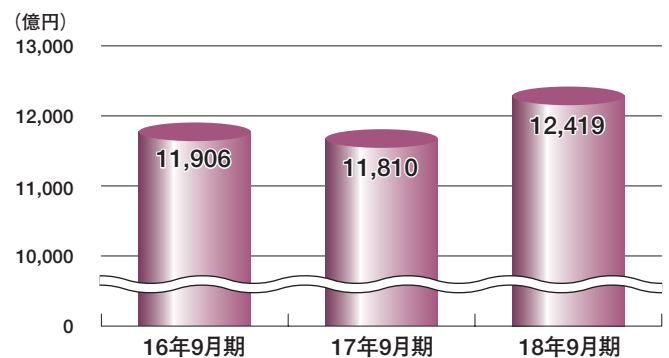
■預金等の残高(単体)

預金等につきましては、地域に根ざした営業活動を展開した結果、順調に推移し、前年同期比+801億円(+5.7%)となりました。



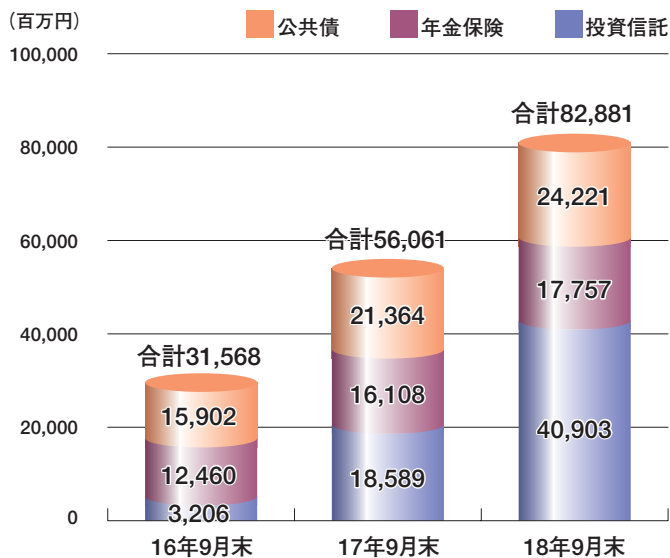
■貸出金の残高(単体)

貸出金は、設備関連を中心とした資金需要に積極的に対応した結果、順調に増加し、前年同期比+609億円(+5.1%)となりました。



■預り資産の残高(単体)

お客様の多様化する資金運用ニーズにお応えするため、商品の充実を図った結果、預り資産残高は大幅に増加しました。



※年金保険は販売累計額



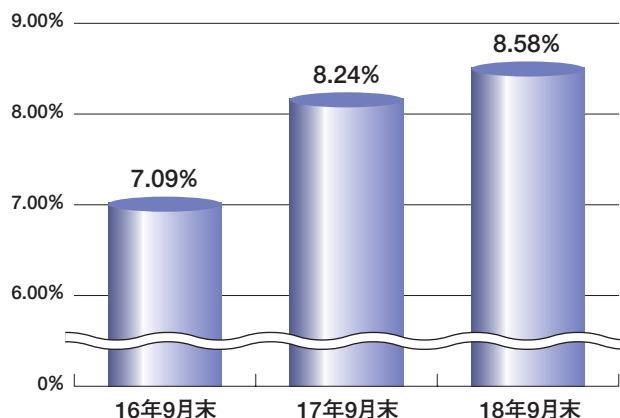
写真：研修所と伊予柑を収穫する男女の像

ひめぎんの現況

営業の概況 (平成18年度中間決算の概況〈単体〉)

自己資本比率 (単体)

平成18年9月末の自己資本比率は8.58% (前年同期比+0.34%)となり、高い健全性を維持しています。



用語のご説明

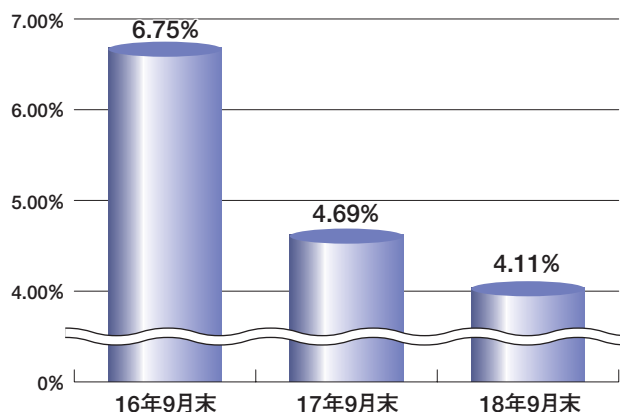
自己資本比率

信用リスクの程度に応じてウエイトづけした資産 (リスクアセット) に対する自己資本の割合です。この比率が高いほど不良債権等に対する備えが充実していることを示しています。

不良債権の状況

金融再生法に基づく開示債権比率 (単体)

平成18年9月末の金融再生法に基づく開示債権比率は、不良債権の回収や、積極的な企業再生努力等により、総与信額の4.11% (前年同期比▲0.58%) になりました。



金融再生法に基づく開示債権の構成比 (単体)

用語のご説明

破産更生債権及びこれらに準ずる債権

破産などの事由により経営破綻に陥っている先に対する債権やこれらに準ずる債権。

危険債権

経営破綻状態には至っていないものの、経営状態が悪化し、約定どおりの返済ができない可能性の高い債権。

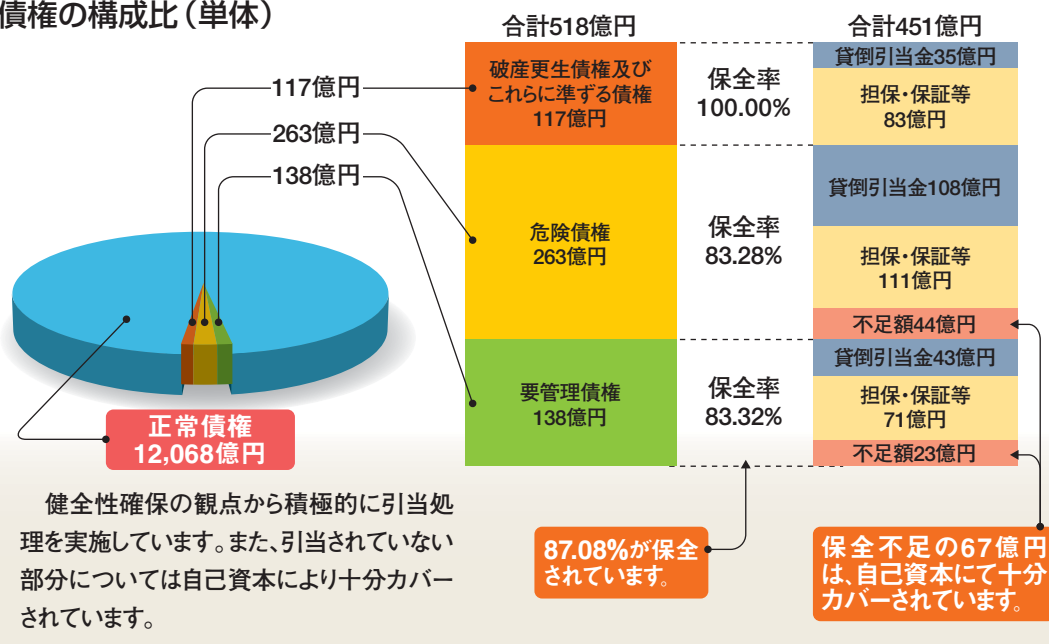
要管理債権

3ヶ月以上延滞債権と貸出条件緩和債権で、「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」「危険債権」に該当しないもの。

正常債権

経営状態に特に問題がないものとして、「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」「危険債権」「要管理債権」に該当しないもの。

(注) 債権額は億円未満を四捨五入しています。



ひめぎんの
現況と地域金融機関
としての取り組み

地域金融機関としてのあり方

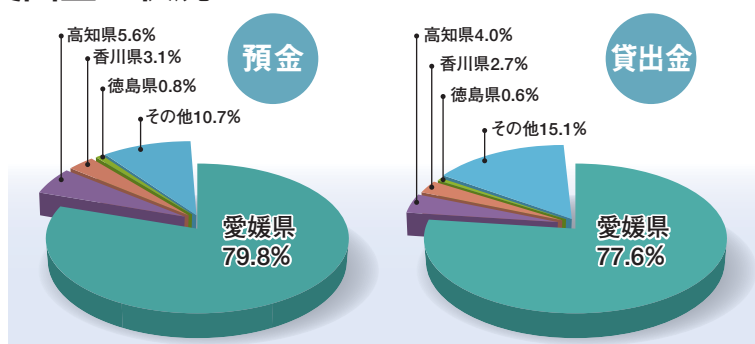
「地域NO.1の金融サービスの提供」を経営指針に掲げ、お客様から「最初に相談される銀行」として、地域の皆様とともに歩んでまいります。

当行は、「ふるさとの発展に役立つ銀行」を経営理念の最初に掲げ、地域経済の発展や生活・文化の向上のため、さまざまな取り組みを積極的に行い、そこに暮らす皆様とともに歩んでまいりました。

そうした創業の精神の原点に回帰し、お客様の立場に立った営業に徹することで、お客様から「最初に相談される銀行」を目指してまいります。さらに、地域に根ざしたふるさと銀行としての伝統を大切にしながらも、従来の銀行の殻を破る思い切った「挑戦」を続けていくことで、地域とともに力強く発展してまいります。

■地域における預金・貸出金の状況

地域のお客様からお預りした大切な預金のほとんどを、地域経済の発展のために、地元愛媛県を中心に四国内で貸出金として運用しています。

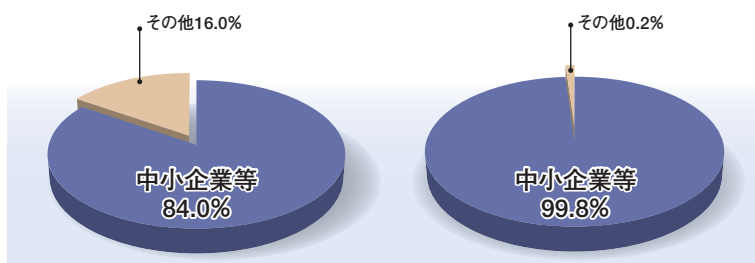


■中小企業等への貸出の状況

貸出金のうち、中小企業および個人の皆様に対するご融資は、件数で99.8%、金額で84.0%のシェアを占めています。今後とも、皆様の資金ニーズに積極的にお応えし、円滑な資金繰りのサポートに努めてまいります。

中小企業等への貸出金額比率

中小企業等への貸出先件数比率

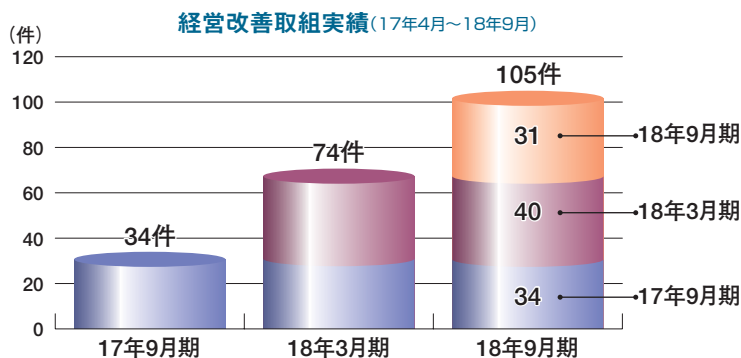


(注) 中小企業等とは、中小企業及び個人です。

■地域密着型金融推進計画 (平成17年4月から平成19年3月)

平成17年8月に策定しました新アクションプログラムに基づく「地域密着型金融推進計画」において、活力ある地域社会の実現に向けて、地域の再生、活性化に努めています。

当行は、事業再生に向けた積極的な支援を行い、経営改善の取組において着実な実績を計上しています。



ひめぎんの現況

地域金融機関としての取り組み

地域への貢献



■愛媛銀行ふるさと振興基金

○助成事業

愛媛県内の産業経済の発展に寄与すると認められる産業活動または文化活動を助成することを目的とし、下記の団体へ助成等を行いました。

- 平成18年 4月 社会福祉法人「馴鹿」(東温市)
- 平成18年 7月 愛治ちんどんクラブ(鬼北町)
- 石畳自治会(内子町)
- 川登自治会(内子町)
- 北岡 杉雄(松山市)
- 平成18年 9月 愛媛県立松山東高等学校(松山市)
- 愛媛大学山岳会(松山市)
- 劇団イリュージョン(松山市)
- 日浦公民館(松山市)
- 孫兵衛作愛護班(今治市)
- 平成18年11月 地域活性化グループ坊っちゃん劇場(東温市)
- 東温市青年農業者協議会(東温市)



■愛・愛チャリティコンサート&オークション

平成18年12月3日、「第12回 愛・愛チャリティコンサート&オークション」が総勢約560名のご来場のもと開催されました。愛媛新聞社音楽部フェニックスの演奏やお楽しみオークションが行われ、収益金・募金を松山市社会福祉協議会へ寄付させていただきました。



■愛媛FCを応援します!

平成18年7月に愛媛FCの順位に応じて金利が変動する「愛媛FC応援定期預金2006」を販売し、好評のうちに完売しました。販売終了時点の残高の0.5%となる150万円を愛媛FCに支援金として贈呈しました。



■地域の行事への参加

地域とのつながり、人と人とのふれあいを大切にしたいと各地の諸行事に積極的に参加をしています。

松山祭りでは総勢130名が野球拳おどりに参加し、祭りを盛り上げました。



■ボランティア活動への参加

愛媛県が推薦している「サマーボランティア・キャンペーン2006」に賛同し、行員約250名参加のもと、梅津寺海岸の清掃ボランティアを行いました。

ひめぎんの現況

トピックス(商品・サービスのご案内)



「あつたら、いいな」始めます。

私ども愛媛銀行は、「お客様に感動していただくこと」「お客様との固い絆をつくること」それを実現するために、お客様の「あつたら、いいな」をカタチにしたいと考えました。

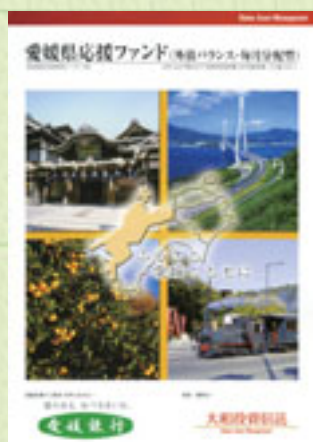


「Voce(ボーチェ)重信」オープン

平成18年11月17日「Voce(ボーチェ)重信」が正式オープンしました。「Voce」とは、イタリア語で「声」を意味します。「Voce重信」では、お客様の「声」を何より大切にしたい店づくりを目指しています。

ひめぎん TOPICS 2006
新商品・新サービス

お客様の多様なニーズにお応えできる新商品・新サービスの開発に取り組み、更なる金融サービスの向上を図ることが情報化時代の金融機関の使命であると考えております。当行はこれからも、迅速で的確な金融サービスをご提供できるように努めてまいります。



ご当地ファンド「愛媛県応援ファンド」の販売開始

地域経済の活性化を目的として、愛媛県内に本社のある企業と県内進出企業の公開株式等に投資する「愛媛県応援ファンド」の販売を開始しました。

「えひめガイヤファンド」の設立

愛媛県を中心に四国のコア産業である農林水産業の支援育成を目的として、民間企業では国内初の農業ファンドを設立しました。



「あつたか住宅ローン」の取扱開始

お客様のライフプランやニーズに幅広くお応えするため、返済期間が最長50年まで可能である「あつたか住宅ローン」の取扱を開始しました。



ICキャッシュカードの導入

平成19年2月より、「ICキャッシュカード」の発行を開始し、当行の店舗内・店舗外のATMでご利用いただけます。(他の金融機関と共同設置のATMを除く)

消費者ローンのインターネットでの申込受付開始

多様化するお客様のニーズにお応えするため、インターネットによる消費者ローンの申込受付を開始しました。メールアドレス/<http://www.himegin.co.jp/>

